

可搬設備の保管場所の確保 アクセスルート整備

外部からの火災の影響を受けないよう、可搬設備(発電機車、ポンプ車等)の保管場所2箇所および保管場所から4号機までのアクセスルートを防火帯の内側に配置します。

重大事故時に可搬設備をより一層確実に使用できるように、耐震性を確保したうえで、竜巻・火災の影響を受けない地下式の可搬設備用燃料タンク(1週間分)を、津波による万一の敷地浸水時においても影響の少ない保管場所に増設します。

